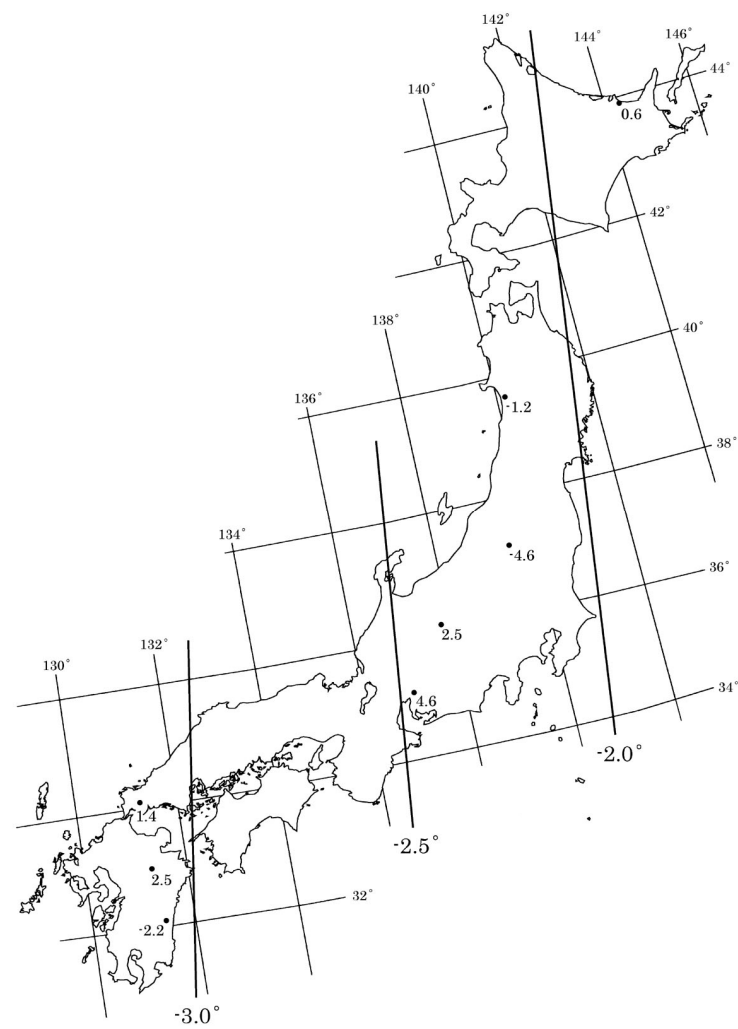


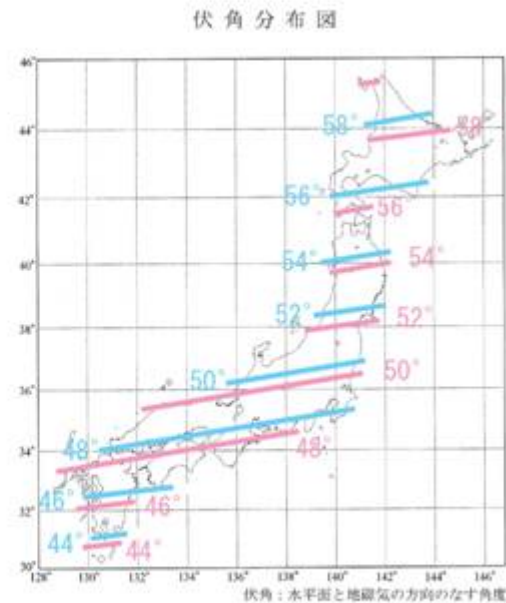
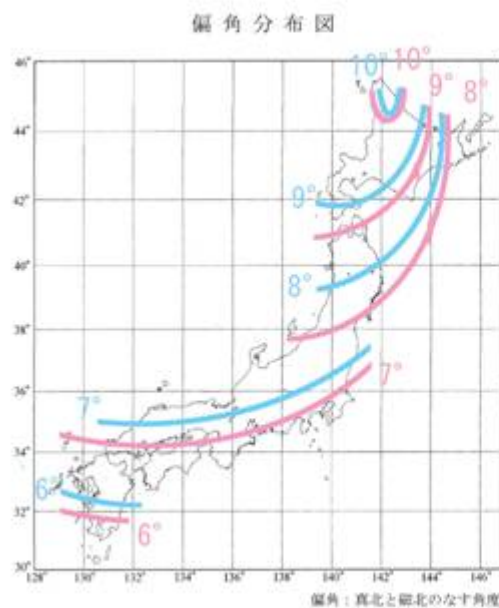
約9万年前の伏角図



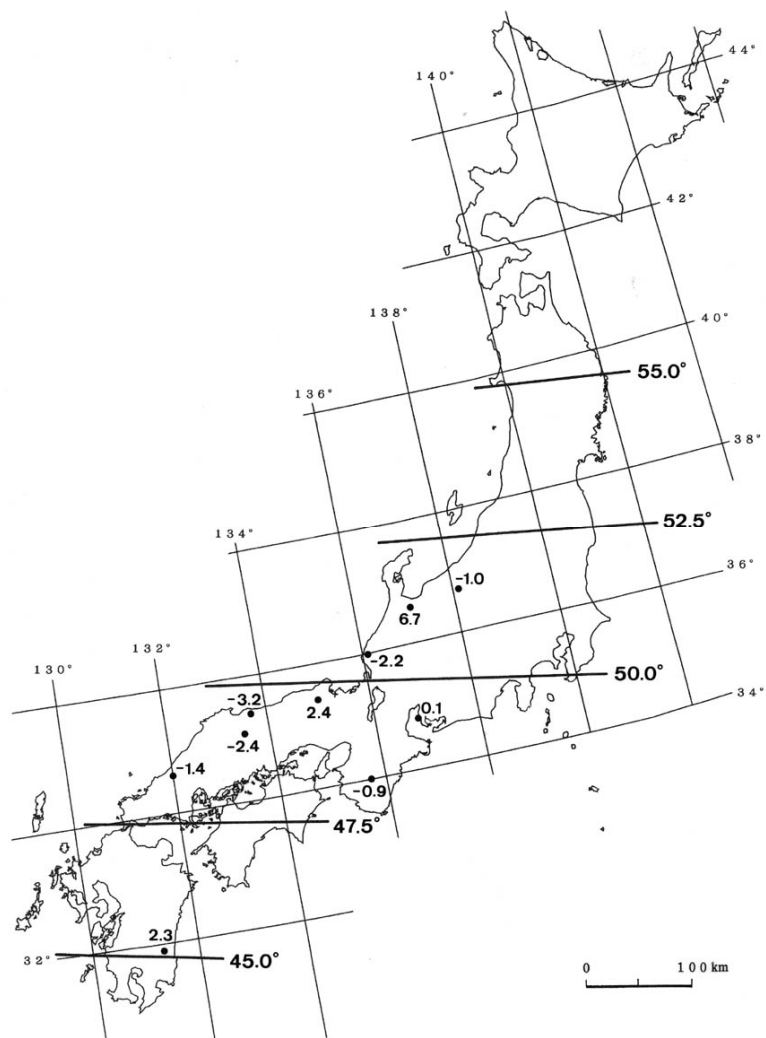
約9万年前の偏角図



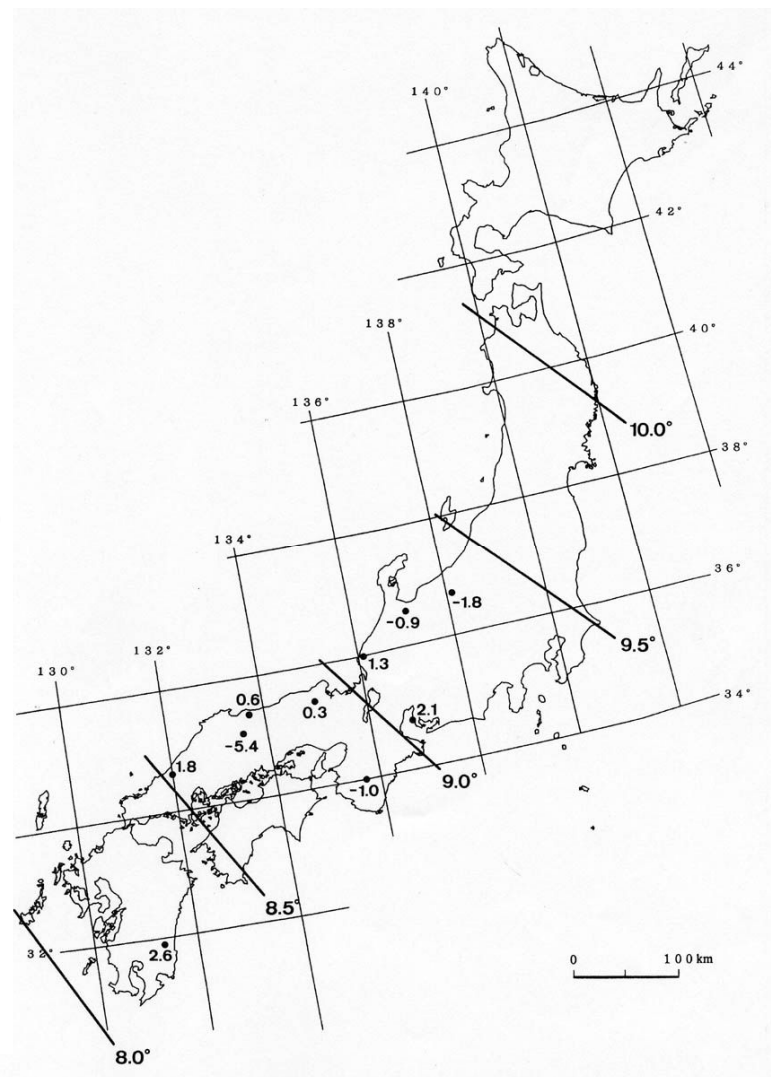
約9万年前の
偏角図・伏角図



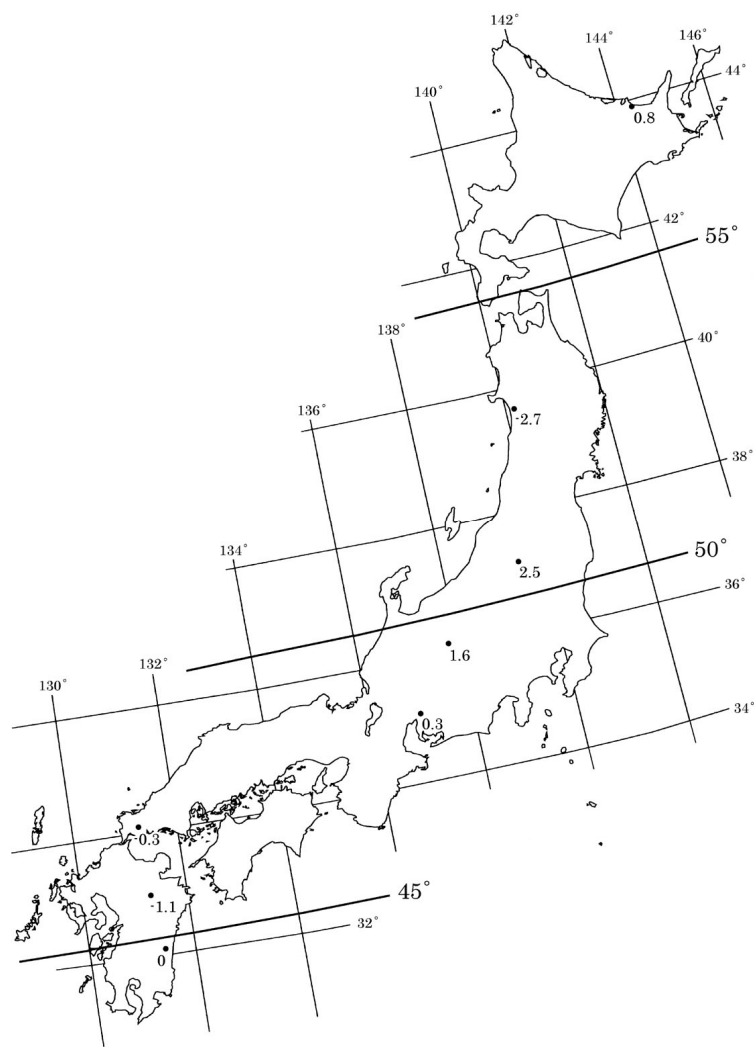
現在の
偏角図・伏角図



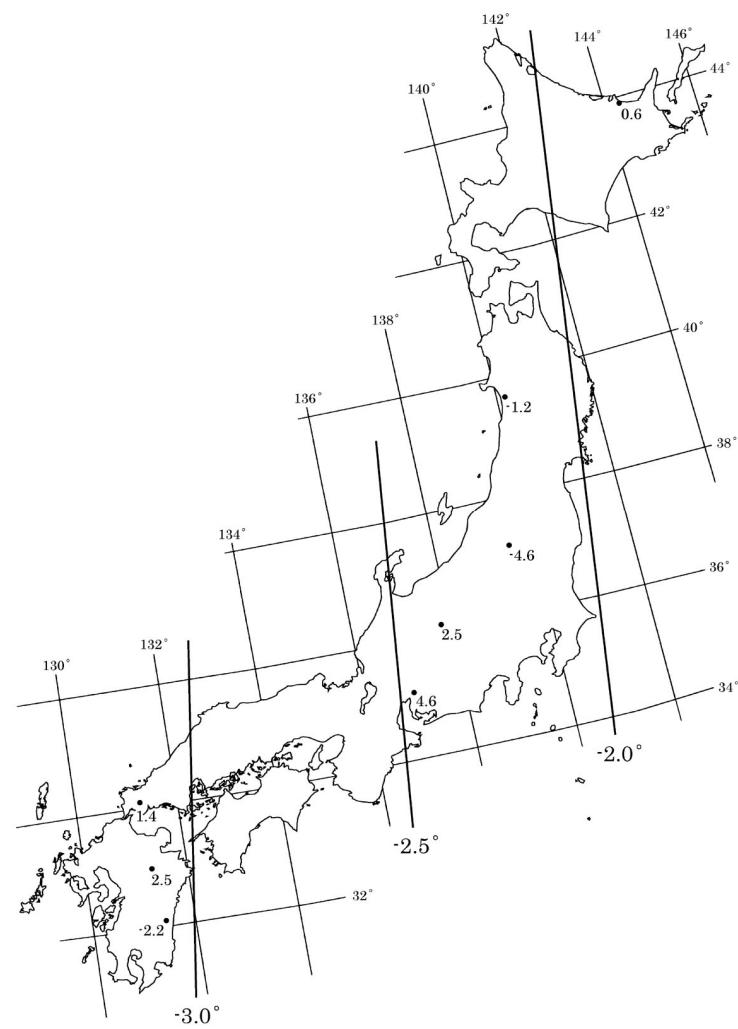
約2.5万年前の伏角図



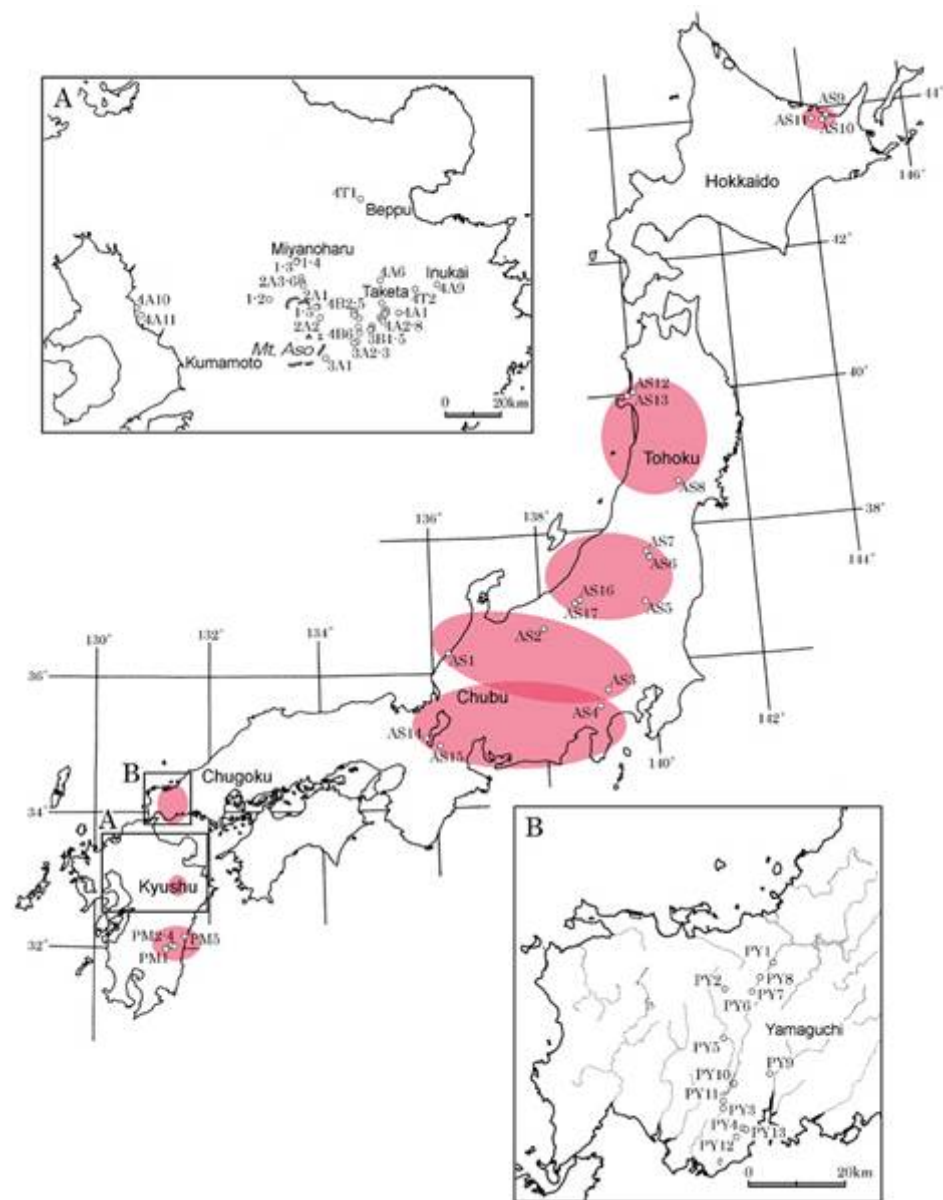
約2.5万年前の偏角図



約9万年前の伏角図



約9万年前の偏角図



まとめ

- Aso-1, Aso-4噴出時の地磁気方位は, 過去2000年間の地磁気永年変化の範囲にあった。Aso-2噴出時の地磁気方位は非常に深い伏角で, Aso-3噴出時の方位は極端に東偏した偏角で特徴づけられる。
- 阿蘇4テフラが堆積した時代には, 地磁気伏角は地磁気永年変化によって時間とともに浅くなっていったと考えられる。
- Aso-4A堆積時の地球磁場は, 日本列島において同一の双極子磁場が優勢であったと推定される。その双極子磁場の地磁気北極は, 22.7° W, 83.3° Nの位置にあったと仮定できる。